

指定校番号	29042	学級活動	<input type="radio"/>	生徒会活動		学校行事		中学校用
-------	-------	------	-----------------------	-------	--	------	--	------

平成 29 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	府中町立府中緑ヶ丘中学校	校長	谷川 清二	生徒指導主事	河本 春彦
取組事例名		『人間関係作りトレーニング』			
取組のねらい		『社会的能力の育成』			
<ul style="list-style-type: none"> ・「自己への気づき」「他者への気づき」「自己のコントロール」「対人関係」「責任ある意思決定」の5つを基盤とした応用的な社会的能力として「生活上の問題防止スキル」「人生の重要事態に対する能力」「積極的、貢献的な奉仕活動」の8つの社会的能力を育成することを目的としている。 					
身に付させたい資質・能力					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会的能力と規範意識の向上及び対人関係能力 					
取組の具体的内容		『対人関係能力の育成』			
<ul style="list-style-type: none"> ・学活の時間に年7回実施（全教職員） ・福岡教育大学小泉教授を講師に招いて校内研修会実施 ・人間関係作りトレーニングに関するアンケート年2回実施し内容の見直しを行った。 					
取組の課題・創意工夫		『授業での取組方法と関わらせ方』			
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学級適応を向上させるため、授業実施に際して内容の吟味、工夫や取組の定着をさせるため体系的な指導の実践とプログラムの継続や教師側の指導力や質の向上が求められる。（授業改善） 					
取組の成果（効果）		『思いを伝える表現方法』			
<ul style="list-style-type: none"> ・3年間本校で実施継続してきた結果、社会的能力や学級の満足度、集団の凝集性の高まりが見られるようになった。また、学校行事や学校生活の日常での基本的な関わり合いや授業におけるグループ活動等が自然に行動できるようになった。 					
今後の展開		『生徒が主体となった関係作り』			
<ul style="list-style-type: none"> ・全教員での継続的な取組の定着と体制づくりや共通理解。また、プログラムの取組が教師と生徒が一緒になって実践できる授業を作っていく。 ・教師自身がスキル、態度、価値観を身につけプログラムを日常の教育活動につなげる。 					
他校へのアドバイス		『予防・開発的取組』			
<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や日常生活での言動において社会的能力を育成するために、プログラムを継続して取り組むことにより、対人関係（コミュニケーション）能力を育てることへつなげるとともに、日常に起こりうる様々な対人関係での問題への予防、開発的な力へとつなげることができる。 					